



## 思いと力を一つにして

副校長 國司 香織

23日、「第105回運動会」を開催しました。保護者の皆様・地域の皆様等々、多数の皆様にご来校いただき、子ども達の真剣な姿にたくさんの拍手とご声援をいただきました。本当にありがとうございました。

着任1年目の私は、山元小での初めての運動会でしたが、準備の段階から山元小ならではの工夫等があることに新鮮な驚きを感じました。

山元小ならではのと言えば、何といても開閉会式に山元小キャラクターの「やまもる」と「ほしまる」が登場することです。入学式でも登場したことが印象に残っていますが、運動会でも当然登場し、開会式では運動会を盛り上げ、閉会式ではこれからの学校生活へのさらなる期待を子ども達に抱かせてくれました。学校独自のキャラクターがいる学校は多くありますが、これほど大事に日常生活に溶け込んでいるキャラクターは山元小ならではのだと思います。やまもるとほしまるが登場すると子ども達だけでなく、周囲の大人も自然と笑顔となり、一体感をもたらしています。今後の様々な場面でも、2つのキャラクターが登場し盛り上げてくれることでしょう。どこで登場するのか楽しみです。

子ども達の演技・種目では、少人数ならではの、低中高学年で2学年が合同で行いました。上の学年は、手本になるように動きますし、下の学年は上の学年の動きを習って動く姿が多いです。担任達もそのような姿を期待し、多く称賛し、運動会を通して個々と集団としての成長に繋げていきます。少

人数ということで、5・6年生は、決勝・審判、用具、得点、放送などの役割があり、座る間もないほどに、動き回ります。そして、忘れてはならない応援団もその一つです。応援団は4年生からの参加もあり、当日まで休み時間を使って練習を積み重ね、本番では声をからして応援してくれました。

教職員も人数が少ないので、全員が役割を担当し、互いに声をかけあいながら準備しつつ、当日を迎えました。校外委員の皆様には受付や会場のパトロールにご協力いただきました。また、保護者や地域の皆様、卒業生の力を借り、準備や片付けを行いました。前日準備に手を挙げてくださっていた方もいらっしゃいますし、悪天候により、当日の朝からのみの準備になったにもかかわらず、たくさんの方にお手伝いいただいて余裕をもって子ども達の登校を迎え入れることができました。片付けも手の空いた方が足りない箇所へどんどん動いていただいて、あっという間に終わりました。子ども達の下校後に教職員だけの片付けは、用具等をしまうことに集中できて大変ありがたかったです。

運動会だけでなく、日頃の登下校の見守り等でも地域の皆様にご協力いただいて、子ども達の安全を保つことができています。「山元小」を大切に思うこと、子ども達の健やかな成長のため等々、学校・家庭・地域で協力しながら、教育活動を進めてまいりたいと思っております。皆様、これからもご理解とご協力をお願いいたします。